（日本産業規格Ａ列４番）

様式第２号の21の２（第８関係）

燃　料　電　池　発　電　設　備　概　要　表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　目 | | 良 | 否 |
| 設備種別 | □低圧発電・□高圧発電 |  |  |
| 機器種別 | □固体高分子型・□リン酸型・□溶融炭酸塩型・□固体酸化物型  □その他 |  |  |
| 工事種別 | □新設・□増設・□全部改設・□一部改設・□移設・□改修・□増改設  □その他 |  |  |
| 設置場所（階） | □　　　階　・□屋上　・□屋外 |  |  |
| 電圧 | □105・□210・□415・□6,600・□その他　　　　Ｖ |  |  |
| 出力 | ｋＷ |  |  |
| キュービクル該否 | □該当・□非該当 |  |  |
| 非常電源該否 | □非常電源該当・□非常電源非該当  容量計算書の添付（□有・□無） |  |  |
| 熱源区分 | □灯油・□重油・□その他の液体燃料  □都市ガス・□ＬＰガス・□その他の気体燃料 |  |  |
| 保守管理 | □非該当・□自家・□委託・□その他 |  |  |
| 設置室 | 構造　壁（□耐　火・□準耐火・□不　燃）、天井（□耐火・□準耐火・□不燃）  　　開口部（□防火戸・□特定防火設備である防火戸）  　　換　気　　□自然換気（□ＦＤ付）  　　　　　　　□機械換気（ダクト　□ＦＤ付・□耐火被覆）  　　ケーブル等の貫通部（□大臣認定・□不燃区画・□その他　　　）  室面積　　　　　　　ｍ２ |  |  |
| 電気方式 | □発電専用・□発電＋熱供給・□その他発電 |  |  |
| 安全措置 | 対震装置（□無・□有）  型式番号　　　　　　、設置位置（□本体・□室内）、製造会社 |  |  |
| □自動停止（□改質器温度異常・□換気装置異常）  □炎検知装置・□立ち消え安全装置・□空だき防止装置・□自動温度調節装置  □過熱防止装置・□停電時安全装置・□自動ガス遮断装置・□その他 |  |  |
| 燃料配管 | 材質（□鋼管・□銅管・□その他）、配管方法（□露出・□埋設・□隠ぺい） |  |  |
| 燃料タンク | 容量　　　　Ｌ、材質（□鋼板・□その他　　　　）、板厚　　ｍｍ  固定方法（□ボルト固定・□溶接・□その他）、本体からの水平距離　　　　ｍ |  |  |
| 排気筒 | 貫通部の構造［遮熱材料（□無・□有）、□その他　　　　　　］ |  |  |
| 燃焼空気  取入口等 | 給気口面積（　　　ｃｍ２）、給気口位置（床面から　　　ｃｍ）  給気ファン（給気量　　　ｍ３／h）、給気ファンの位置（床面から　　　ｃｍ） |  |  |
| 耐震措置 | 耐震クラス□Ｓ・□Ａ・□Ｂ　アンカーボルト　　　φ×　　　本 |  |  |
| 消火設備 | □消火器・□大型消火器・□スプリンクラー・□水噴霧・□泡消火・□ＣＯ2  □ハロン・□粉　末・□ＩＧ－55・□ＩＧ－541・□窒　素  □ＨＦＣ－227ea・□ＨＦＣ－23・□その他 |  |  |
| 警報設備 | □自動火災報知設備・□非常ベル・□放送設備・□ガス漏れ警報設備・□その他 |  |  |
| その他 | 非常電源の認定番号　　　　　　　　　　　製造者名 |  |  |

備考１　項目中、□欄は該当するものに✓印を付し、下線部分には該当する内容を記入すること。

２　良否欄は、記入しないこと。

３　火災予防条例（昭和45年稲城市条例第８号）第８条の３の区画ごとに作成すること。